

## ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	約5年間（2013年8月20日～2018年8月17日）
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）」（以下「US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券 （※1）は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。 「日本円・コース」の場合……日本円・クラス、「豪ドル・コース」の場合……豪ドル・クラス、「ブラジル・リアル・コース」の場合……ブラジル・リアル・クラス、「米ドル・コース」の場合……米ドル・クラス、「通貨セレクト・コース」の場合……通貨セレクト・クラス
運用方法	①主として、US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）の受益証券を通じて、米国の株式（※2）の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。 （※1）は前述。 （※2）米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）をいいます。以下同じ。 ②当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／（※3）買いの為替取引を行ないます。 （※3）は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。 「日本円・コース」の場合……日本円、「豪ドル・コース」の場合……豪ドル、「ブラジル・リアル・コース」の場合……ブラジル・リアル、「通貨セレクト・コース」の場合……選定通貨（選定通貨とは、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）の投資顧問会社が決定した複数の通貨をいいます。）
	米ドル・コース以外
	米ドル・コース
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ、およびロ、に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 イ、計算期末の前営業日の基準価額（1万口当り。既払分配金を加算しません。）が10,500円未満の場合、原則として、主要投資対象とする外国投資信託における配当収入等相当分から経費（外国投資信託の経費を含みます。）を控除した額を分配することをめざします。 ロ、計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額（1万口当り）を分配することをめざします。 a. 10,500円以上11,000円未満の場合……300円 b. 11,000円以上11,500円未満の場合……350円 c. 11,500円以上12,000円未満の場合……400円 d. 12,000円以上12,500円未満の場合……450円 e. 12,500円以上の場合……500円 なお、計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわないことがあります。

## 通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド

－イーグルアイⅡ－

予想分配金提示型

日本円・コース／豪ドル・コース／  
ブラジル・リアル・コース／  
米ドル・コース／通貨セレクト・コース

## 運用報告書(全体版)

第14期（決算日 2017年2月28日）

第15期（決算日 2017年5月29日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－予想分配金提示型」は、このたび、第15期の決算を行ないました。

ここに、第14期～第15期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 <5770>  
お問い合わせ先（コールセンター） <5771>  
TEL 0120-106212 <5772>  
（営業日の9:00～17:00） <5773>  
<http://www.daiwa-am.co.jp/> <5774>

## 日本円・コース

## 最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
6期末(2015年3月2日)	10,417	300	0.7	12,785	1.5	0.1	96.6	1,776
7期末(2015年5月28日)	10,381	300	2.5	12,900	0.9	0.1	96.7	1,581
8期末(2015年8月28日)	9,065	0	△ 12.7	12,075	△ 6.4	0.1	93.7	1,296
9期末(2015年11月30日)	9,410	0	3.8	12,698	5.2	0.2	94.0	1,184
10期末(2016年2月29日)	8,223	0	△ 12.6	11,835	△ 6.8	0.2	96.0	925
11期末(2016年5月30日)	9,031	0	9.8	12,752	7.8	—	97.9	937
12期末(2016年8月29日)	9,478	0	4.9	13,177	3.3	0.1	94.1	862
13期末(2016年11月28日)	10,139	0	7.0	13,446	2.0	0.0	94.5	755
14期末(2017年2月28日)	10,731	350	9.3	14,396	7.1	0.1	97.9	672
15期末(2017年5月29日)	10,559	300	1.2	14,676	1.9	0.0	97.3	622

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数(米ドルベース)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

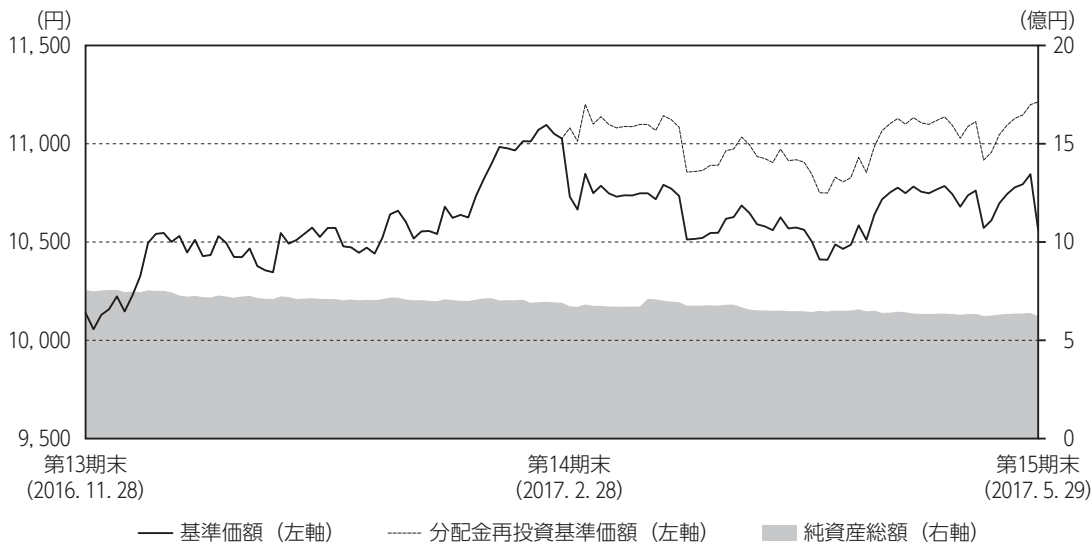
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第14期首：10,139円

第15期末：10,559円（既払分配金650円）

騰落率：10.6%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第14期	(期首) 2016年11月28日	10,139	—	13,446	—	0.0	94.5
	11月末	10,129	△ 0.1	13,394	△ 0.4	0.1	98.0
	12月末	10,356	2.1	13,665	1.6	—	98.1
	2017年1月末	10,518	3.7	13,857	3.1	0.1	98.3
	(期末) 2017年2月28日	11,081	9.3	14,396	7.1	0.1	97.9
第15期	(期首) 2017年2月28日	10,731	—	14,396	—	0.1	97.9
	3月末	10,686	△ 0.4	14,386	△ 0.1	—	96.4
	4月末	10,777	0.4	14,512	0.8	0.1	97.8
	(期末) 2017年5月29日	10,859	1.2	14,676	1.9	0.0	97.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2016. 11. 29 ~ 2017. 5. 29)

### ■米国株式市況

米国株式市況は、ISM（全米供給管理協会）指数などの経済統計がおおむね良好であったことや、トランプ氏の経済政策への期待などを受けて、上昇して始まりました。2017年に入ると、入国規制に関する大統領令による混乱や、シリアや朝鮮半島情勢などの地政学リスクの高まりなどを受けて調整する局面も見られましたが、良好な企業決算の発表やフランス大統領選挙の結果を受けた欧州の政治リスクの後退などが支援材料となり、上昇基調で第15期末を迎えました。

### ■短期金利市況

日銀は、長短金利操作付き量的・質的金融緩和策を継続し、短期金利は0%近辺で推移しました。

米国では、2016年12月および2017年3月にそれぞれ利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを0.25~0.50%から0.75~1.00%に引き上げました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

今後も、「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）」（以下「US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）」といいます。）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。セクター別では、本源的価値と比較して割安な銘柄が多く見られる金融、一般消費財・サービス、資本財・サービス、情報技術などに投資妙味があると考えています。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行ないません。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

(2016. 11. 29 ~ 2017. 5. 29)

### ■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融、一般消費財・サービス、情報技術を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET、WELLS FARGO、CHARTER COMMUNICATIONSなどを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り/日本円買いの為替ヘッジを行ないました。

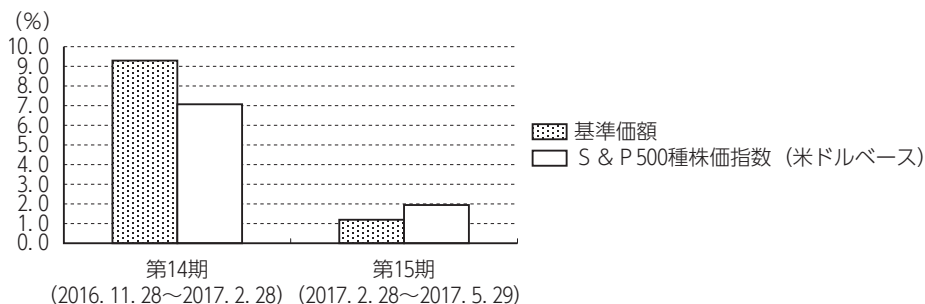
### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第14期は350円、第15期は300円といたしました。  
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第14期	第15期
	2016年11月29日 ～2017年2月28日	2017年3月1日 ～2017年5月29日
当期分配金（税込み）（円）	350	300
対基準価額比率（％）	3.16	2.76
当期の収益（円）	350	130
当期の収益以外（円）	—	169
翌期繰越分配対象額（円）	866	696

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第14期	第15期
(a) 経費控除後の配当等収益	19.53円	7.75円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	<u>656.36</u>	<u>122.55</u>
(c) 収益調整金	105.91	173.13
(d) 分配準備積立金	434.85	<u>693.52</u>
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	1,216.66	996.97
(f) 分配金	350.00	300.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	866.66	696.97

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追及していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行ないません。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。



## 1万口当りの費用の明細

項 目	第14期～第15期 (2016. 11. 29～2017. 5. 29)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	64円	0. 605%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10, 615円です。
(投 信 会 社)	(23)	(0. 215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0. 377)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	65	0. 609	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2016年11月29日から2017年5月29日まで)

決算期	第14期～第15期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	千口 406,772	千円 49,871	千口 1,843,883	千円 232,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2016年11月29日から2017年5月29日まで)

第14期				第15期			
買付		売付		買付		売付	
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS (ケイマン諸島)	千口 392,197	千円 48,000	円 122	US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS (ケイマン諸島)	千口 1,843,883	千円 232,000	円 125

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間(第14期～第15期)中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年11月29日から2017年5月29日まで)

区分	第14期			第15期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 110,363	百万円 24,540	% 22.2	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	3,953,187	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

\*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間(第14期～第15期)中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

\*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第15期末		
	口数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS	千口 4,621,391	千円 605,527	% 97.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第13期末		第 15 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口		千円	
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	1,496	1,496	1,501	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年5月29日現在

項 目	第 15 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	605,527	94.3
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	1,501	0.2
コール・ローン等、その他	35,413	5.5
投資信託財産総額	642,441	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年2月28日)、(2017年5月29日)現在

項 目	第14期末	第15期末
<b>(A) 資産</b>	<b>697,071,927円</b>	<b>642,441,972円</b>
コール・ローン等	37,056,643	35,413,027
投資信託受益証券(評価額)	658,513,242	605,527,052
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	1,502,042	1,501,893
<b>(B) 負債</b>	<b>24,158,253</b>	<b>19,864,794</b>
未払収益分配金	21,946,666	17,688,905
未払解約金	—	181,885
未払信託報酬	2,196,984	1,966,319
その他未払費用	14,603	27,685
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>672,913,674</b>	<b>622,577,178</b>
元本	627,047,600	589,630,180
次期繰越損益金	45,866,074	32,946,998
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>627,047,600口</b>	<b>589,630,180口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	10,731円	10,559円

\*第13期末における元本額は745,074,697円、当作成期間(第14期~第15期)中における追加設定元本額は95,894,109円、同解約元本額は251,338,626円です。  
\*第15期末の計算口数当りの純資産額は10,559円です。

■損益の状況

第14期 自2016年11月29日 至2017年2月28日  
第15期 自2017年3月1日 至2017年5月29日

項 目	第14期	第15期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>1,272,004円</b>	<b>575,071円</b>
受取配当金	1,273,728	577,112
受取利息	161	123
支払利息	△ 1,885	△ 2,164
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>58,531,709</b>	<b>9,087,837</b>
売買益	64,841,513	9,455,209
売買損	△ 6,309,804	△ 367,372
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 2,211,587</b>	<b>△ 1,979,546</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>57,592,126</b>	<b>7,683,362</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>12,057,463</b>	<b>40,892,496</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 1,836,849</b>	<b>2,060,045</b>
(配当等相当額)	( 6,641,233)	( 10,208,704)
(売買損益相当額)	(△ 8,478,082)	(△ 8,148,659)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>67,812,740</b>	<b>50,635,903</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 21,946,666</b>	<b>△ 17,688,905</b>
次期繰越損益金(G+H)	45,866,074	32,946,998
追加信託差損益金	△ 1,836,849	2,060,045
(配当等相当額)	( 6,641,233)	( 10,208,704)
(売買損益相当額)	(△ 8,478,082)	(△ 8,148,659)
分配準備積立金	47,702,923	30,886,953

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第14期	第15期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,224,700円	457,067円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	41,157,445	7,226,295
(c) 収益調整金	6,641,233	10,208,704
(d) 分配準備積立金	27,267,444	40,892,496
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	76,290,822	58,784,562
(f) 分配金	21,946,666	17,688,905
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	54,344,156	41,095,657
(h) 受益権総口数	627,047,600口	589,630,180口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金	第14期	第15期
	350円	300円
(単 価)	(10,731円)	(10,559円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

## 豪ドル・コース

## 最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
6期末(2015年3月2日)	11,039	350	△ 5.7	12,785	1.5	93.35	△ 7.3	0.2	96.8	815
7期末(2015年5月28日)	11,230	400	5.4	12,900	0.9	95.80	2.6	0.2	97.1	801
8期末(2015年8月28日)	8,851	40	△ 20.8	12,075	△ 6.4	87.11	△ 9.1	0.2	93.8	621
9期末(2015年11月30日)	9,377	40	6.4	12,698	5.2	88.12	1.2	0.2	94.2	619
10期末(2016年2月29日)	7,546	30	△ 19.2	11,835	△ 6.8	80.95	△ 8.1	0.3	96.5	464
11期末(2016年5月30日)	8,034	30	6.9	12,752	7.8	79.49	△ 1.8	—	97.4	459
12期末(2016年8月29日)	8,190	30	2.3	13,177	3.3	76.85	△ 3.3	0.1	93.4	395
13期末(2016年11月28日)	9,535	20	16.7	13,446	2.0	83.59	8.8	0.0	94.4	401
14期末(2017年2月28日)	10,457	300	12.8	14,396	7.1	86.37	3.3	0.0	97.3	421
15期末(2017年5月29日)	10,220	0	△ 2.3	14,676	1.9	82.86	△ 4.1	0.0	94.2	378

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数(米ドルベース)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

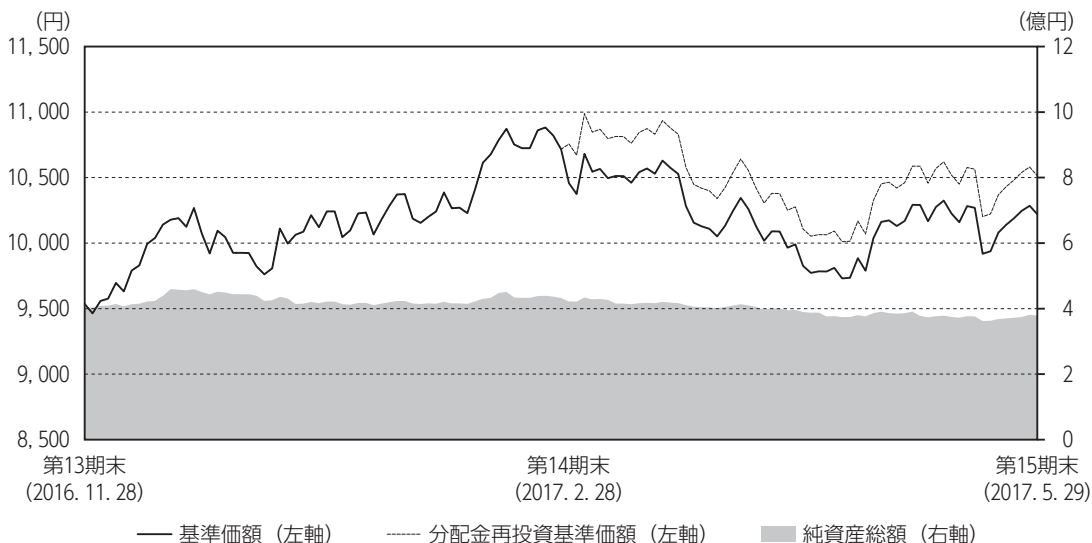
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第14期首： 9,535円

第15期末： 10,220円（既払分配金300円）

騰落率： 10.3%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

豪ドルが対円で下落したことがマイナス要因となりましたが、米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 豪ドル・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第14期	(期首) 2016年11月28日	9,535	—	13,446	—	83.59	—	0.0	94.4
	11月末	9,558	0.2	13,394	△ 0.4	84.14	0.7	0.0	98.0
	12月末	9,762	2.4	13,665	1.6	84.36	0.9	—	98.8
	2017年1月末	10,187	6.8	13,857	3.1	86.10	3.0	0.0	98.4
	(期末) 2017年2月28日	10,757	12.8	14,396	7.1	86.37	3.3	0.0	97.3
第15期	(期首) 2017年2月28日	10,457	—	14,396	—	86.37	—	0.0	97.3
	3月末	10,345	△ 1.1	14,386	△ 0.1	85.84	△ 0.6	—	97.1
	4月末	10,130	△ 3.1	14,512	0.8	83.24	△ 3.6	0.0	98.3
	(期末) 2017年5月29日	10,220	△ 2.3	14,676	1.9	82.86	△ 4.1	0.0	94.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2016. 11. 29 ~ 2017. 5. 29)

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は、ISM (全米供給管理協会) 指数などの経済統計がおおむね良好であったことや、トランプ氏の経済政策への期待などを受けて、上昇して始まりました。2017年に入ると、入国規制に関する大統領令による混乱や、シリアや朝鮮半島情勢などの地政学リスクの高まりなどを受けて調整する局面も見られましたが、良好な企業決算の発表やフランス大統領選挙の結果を受けた欧州の政治リスクの後退などが支援材料となり、上昇基調で第15期末を迎えました。

### ■ 為替相場

豪ドルの対円為替相場は下落しました。トランプ米国大統領の経済政策への期待感から市場のリスク選好度が高まったことや、RBA (オーストラリア準備銀行) 総裁が講演において通貨高を懸念する姿勢を示さなかったことなどを受けて、堅調に推移しました。2017年3月以降は、トランプ政権の経済政策に対する不透明感や、シリアや北朝鮮情勢をめぐる警戒感などから市場のリスク回避姿勢が強まり、下落しました。

### ■ 短期金利市況

RBAは、政策金利を1.50%で据え置きました。

米国では、2016年12月および2017年3月にそれぞれ利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを0.25~0.50%から0.75~1.00%に引き上げました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

今後も、「ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス) 」(以下「US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス) 」)とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス)

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。セクター別では、本源的価値と比較して割安な銘柄が多く見ら



れる金融、一般消費財・サービス、資本財・サービス、情報技術などに投資妙味があると考えています。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行ないます。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

(2016. 11. 29 ~ 2017. 5. 29)

### ■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融、一般消費財・サービス、情報技術を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET、WELLS FARGO、CHARTER COMMUNICATIONSなどを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行ないました。

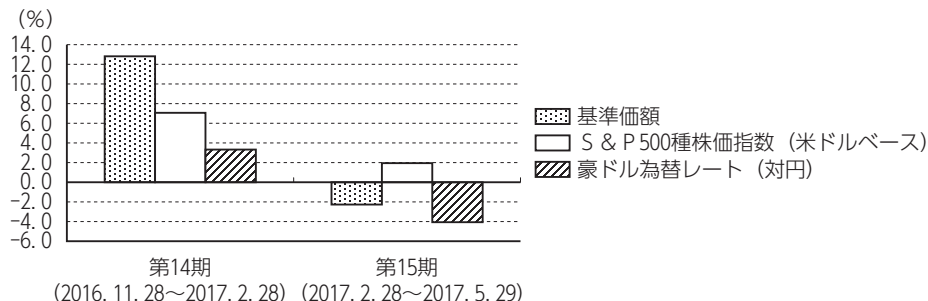
### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

1万口当り分配金(税込み)は、第14期は300円、第15期は外国投資信託における配当収益等相当分から経費(外国投資信託を含みます。)を控除した額がマイナスになったため、収益分配を見送らせていただきました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳(1万口当り)

項 目		第14期	第15期
		2016年11月29日 ~2017年2月28日	2017年3月1日 ~2017年5月29日
当期分配金(税込み)	(円)	300	—
	対基準価額比率 (%)	2.79	—
	当期の収益 (円)	55	—
	当期の収益以外 (円)	244	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,430	1,451

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てしており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第14期	第15期
(a) 経費控除後の配当等収益	55.18円	20.32円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	359.24	395.28
(d) 分配準備積立金	1,316.35	1,035.82
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,730.78	1,451.42
(f) 分配金	300.00	0.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,430.78	1,451.42

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追及していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行いません。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第14期～第15期 (2016. 11. 29～2017. 5. 29)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	62円	0.606%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,193円です。
(投 信 会 社)	(22)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0.377)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	62	0.609	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2016年11月29日から2017年5月29日まで)

決算期	第14期～第15期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 504.346	千円 54,288	千口 1,032.692	千円 115,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2016年11月29日から2017年5月29日まで)

第14期				第15期			
買付		売付		買付		売付	
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS (ケイマン諸島)	千口 467.036	千円 50,000	円 107	US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS (ケイマン諸島)	千口 1,032.692	千円 115,000	円 111

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間(第14期～第15期)中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年11月29日から2017年5月29日まで)

決算期	第14期			第15期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 110,363	百万円 24,540	% 22.2	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	3,953,187	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間(第14期～第15期)中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第15期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS	千口 3,160.714	千円 356,863	% 94.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第13期末		第 15 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口		千円	
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	499	499	501	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年5月29日現在

項 目	第 15 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	356,863	92.7
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	501	0.1
コール・ローン等、その他	27,623	7.2
投資信託財産総額	384,988	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年2月28日)、(2017年5月29日)現在

項 目	第14期末	第15期末
<b>(A) 資産</b>	<b>435,417,485円</b>	<b>389,988,461円</b>
コール・ローン等	24,294,830	27,623,190
投資信託受益証券(評価額)	410,620,912	356,863,578
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	501,743	501,693
未収入金	—	5,000,000
<b>(B) 負債</b>	<b>13,436,903</b>	<b>11,202,230</b>
未払金	—	10,000,000
未払収益分配金	12,106,313	—
未払解約金	12,108	1,024
未払信託報酬	1,309,800	1,184,663
その他未払費用	8,682	16,543
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>421,980,582</b>	<b>378,786,231</b>
元本	403,543,769	370,635,597
次期繰越損益金	18,436,813	8,150,634
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>403,543,769口</b>	<b>370,635,597口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	10,457円	10,220円

\*第13期末における元本額は421,285,171円、当作成期間(第14期~第15期)中における追加設定元本額は62,738,235円、同解約元本額は113,387,809円です。

\*第15期末の計算口数当りの純資産額は10,220円です。

■損益の状況

第14期 自2016年11月29日 至2017年2月28日  
第15期 自2017年3月1日 至2017年5月29日

項 目	第14期	第15期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>2,289,849円</b>	<b>1,945,860円</b>
受取配当金	2,290,825	1,947,061
受取利息	47	65
支払利息	△ 1,023	△ 1,266
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>45,609,634</b>	<b>9,434,534</b>
売買益	49,017,482	1,218,094
売買損	△ 3,407,848	△ 10,652,628
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 1,318,482</b>	<b>△ 1,192,609</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>46,581,001</b>	<b>8,681,283</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 20,991,480</b>	<b>11,970,979</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>4,953,605</b>	<b>4,860,938</b>
(配当等相当額)	( 14,497,243)	( 14,650,498)
(売買損益相当額)	(△ 9,543,638)	(△ 9,789,560)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>30,543,126</b>	<b>8,150,634</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 12,106,313</b>	<b>—</b>
次期繰越損益金(G+H)	18,436,813	8,150,634
追加信託差損益金	4,953,605	4,860,938
(配当等相当額)	( 14,497,243)	( 14,650,498)
(売買損益相当額)	(△ 9,543,638)	(△ 9,789,560)
分配準備積立金	43,241,255	39,144,658
繰越損益金	△ 29,758,047	△ 35,854,962

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第14期	第15期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,226,768円	753,183円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	14,497,243	14,650,498
(d) 分配準備積立金	53,120,800	38,391,475
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	69,844,811	53,795,156
(f) 分配金	12,106,313	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	57,738,498	53,795,156
(h) 受益権総口数	403,543,769口	370,635,597口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	第14期
	300円
(単 価)	(10,457円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

## ブラジル・リアル・コース

## 最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
6期末(2015年3月2日)	11,673	400	△ 7.7	12,785	1.5	42.19	△ 9.6	0.1	97.1	1,800
7期末(2015年5月28日)	11,133	350	△ 1.6	12,900	0.9	39.39	△ 6.6	0.1	96.6	1,577
8期末(2015年8月28日)	8,436	270	△ 21.8	12,075	△ 6.4	34.08	△ 13.5	0.2	96.3	1,079
9期末(2015年11月30日)	8,307	270	1.7	12,698	5.2	31.93	△ 6.3	0.2	96.2	960
10期末(2016年2月29日)	6,306	200	△ 21.7	11,835	△ 6.8	28.41	△ 11.0	0.3	98.2	678
11期末(2016年5月30日)	7,341	200	19.6	12,752	7.8	30.67	8.0	—	97.4	757
12期末(2016年8月29日)	7,884	250	10.8	13,177	3.3	31.20	1.7	0.1	96.1	730
13期末(2016年11月28日)	8,861	250	15.6	13,446	2.0	32.88	5.4	0.0	96.2	727
14期末(2017年2月28日)	10,518	300	22.1	14,396	7.1	36.16	10.0	0.0	97.3	1,000
15期末(2017年5月29日)	10,098	220	△ 1.9	14,676	1.9	34.15	△ 5.6	0.0	96.5	952

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数(米ドルベース)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

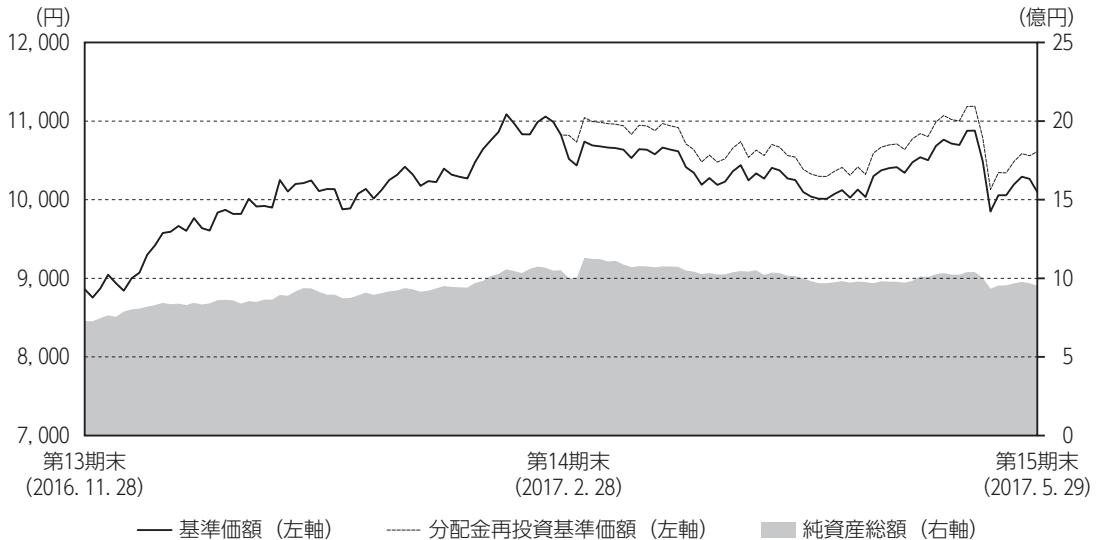
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。





## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第14期首： 8,861円

第15期末：10,098円（既払分配金520円）

騰落率：19.8%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことや、ブラジル・リアルが対円で上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第14期	(期首) 2016年11月28日	8,861	—	13,446	—	32.88	—	0.0	96.2
	11月末	8,871	0.1	13,394	△ 0.4	33.12	0.7	0.1	97.2
	12月末	9,921	12.0	13,665	1.6	35.72	8.6	—	97.6
	2017年1月末	10,320	16.5	13,857	3.1	36.40	10.7	0.1	97.4
	(期末) 2017年2月28日	10,818	22.1	14,396	7.1	36.16	10.0	0.0	97.3
第15期	(期首) 2017年2月28日	10,518	—	14,396	—	36.16	—	0.0	97.3
	3月末	10,440	△ 0.7	14,386	△ 0.1	35.59	△ 1.6	—	98.5
	4月末	10,413	△ 1.0	14,512	0.8	34.92	△ 3.4	0.1	98.6
	(期末) 2017年5月29日	10,318	△ 1.9	14,676	1.9	34.15	△ 5.6	0.0	96.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2016. 11. 29 ~ 2017. 5. 29)

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は、ISM (全米供給管理協会) 指数などの経済統計がおおむね良好であったことや、トランプ氏の経済政策への期待などを受けて、上昇して始まりました。2017年に入ると、入国規制に関する大統領令による混乱や、シリアや朝鮮半島情勢などの地政学リスクの高まりなどを受けて調整する局面も見られましたが、良好な企業決算の発表やフランス大統領選挙の結果を受けた欧州の政治リスクの後退などが支援材料となり、上昇基調で第15期末を迎えました。

### ■ 為替相場

ブラジル・リアルの為替相場は上昇しました。ブラジルの財政健全化への取組姿勢が好感されたことや、主要産油国が原油生産量の削減で合意し原油価格が底堅く推移したことなどが支援材料となり、堅調に推移しました。しかし2017年5月に入ると、ブラジルのテメル大統領の汚職隠ぺい疑惑などを受けて、上げ幅を縮小しました。

### ■ 短期金利市況

ブラジル中央銀行は、継続的に利下げを実施し、政策金利を11.25%としました。

米国では、2016年12月および2017年3月にそれぞれ利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを0.25~0.50%から0.75~1.00%に引き上げました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

今後も、「ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス)」(以下「US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス)」といいます。)とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス)

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。セクター別では、本源的価値と比較して割安な銘柄が多く見ら

れる金融、一般消費財・サービス、資本財・サービス、情報技術などに投資妙味があると考えています。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないます。

#### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

(2016. 11. 29 ~ 2017. 5. 29)

#### ■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）への投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

#### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）

US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融、一般消費財・サービス、情報技術を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET、WELLS FARGO、CHARTER COMMUNICATIONSなどを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないました。

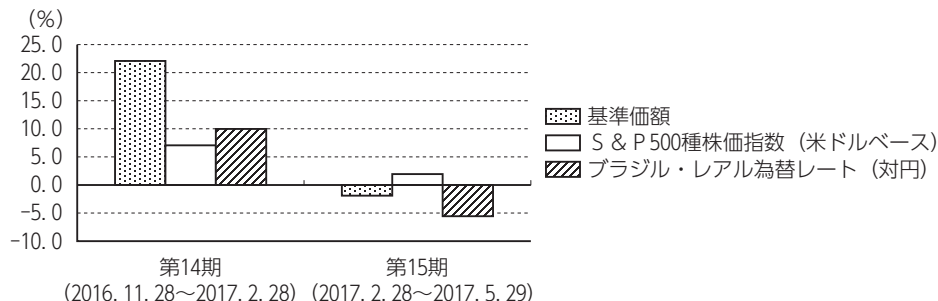
#### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

1万口当たり分配金（税込み）は、第14期は300円、第15期は220円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第14期		第15期	
	2016年11月29日 ~2017年2月28日		2017年3月1日 ~2017年5月29日	
当期分配金 (税込み) (円)		300		220
対基準価額比率 (%)		2.77		2.13
当期の収益 (円)		253		220
当期の収益以外 (円)		46		—
翌期繰越分配対象額 (円)		3,235		3,269

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第14期	第15期
(a) 経費控除後の配当等収益	253.23円	253.08円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,536.28	1,826.23
(d) 分配準備積立金	1,745.91	1,409.89
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,535.43	3,489.21
(f) 分配金	300.00	220.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,235.43	3,269.21

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■ 当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追及していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行いません。

### ■ ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第14期～第15期 (2016. 11. 29～2017. 5. 29)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	62円	0. 605%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10, 220円です。
(投 信 会 社)	(22)	(0. 215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0. 377)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	62	0. 609	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2016年11月29日から2017年5月29日まで)

決算期	第14期～第15期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	千口	千円	千口	千円
	3,667.875	347,918	2,460.003	235,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2016年11月29日から2017年5月29日まで)

第14期～第15期				第14期～第15期			
買付		平均単価		売付		平均単価	
銘柄	口数	金額	円	銘柄	口数	金額	円
US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS (ケイマン諸島)	千口	千円	円	US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS (ケイマン諸島)	千口	千円	円
	3,137.728	295,000	94		2,460.003	235,000	95

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第14期～第15期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第14期～第15期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年11月29日から2017年5月29日まで)

区分	第14期～第15期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	110,363	24,540	22.2	—	—	—
コール・ローン	3,953,187	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。



■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 15 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS	9,676.238	919,697	96.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第13期末			第 15 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・ マザーファンド	1,496	1,496	1,501			

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年5月29日現在

項 目	第 15 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	919,697	93.6
ダイワ・マネーストック・ マザーファンド	1,501	0.2
コール・ローン等、その他	61,506	6.2
投資信託財産総額	982,705	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年2月28日)、(2017年5月29日)現在

項 目	第14期末	第15期末
(A) 資産	1,076,703,698円	987,705,456円
コール・ローン等	56,220,642	56,506,078
投資信託受益証券(評価額)	972,981,014	919,697,485
ダイワ・マネーストック・ マザーファンド(評価額)	1,502,042	1,501,893
未収入金	46,000,000	10,000,000
(B) 負債	76,517,372	34,779,341
未払金	23,000,000	5,000,000
未払収益分配金	28,528,736	20,761,917
未払解約金	22,212,839	5,923,244
未払信託報酬	2,757,463	3,055,496
その他未払費用	18,334	38,684
(C) 純資産総額(A-B)	1,000,186,326	952,926,115
元本	950,957,873	943,723,513
次期繰越損益金	49,228,453	9,202,602
(D) 受益権総口数	950,957,873口	943,723,513口
1万口当り基準価額(C/D)	10,518円	10,098円

\* 第13期末における元本額は820,466,588円、当作成期間(第14期~第15期)中における追加設定元本額は487,027,366円、同解約元本額は363,770,441円です。

\* 第15期末の計算口数当りの純資産額は10,098円です。

■損益の状況

第14期 自2016年11月29日 至2017年2月28日  
第15期 自2017年3月1日 至2017年5月29日

項 目	第14期	第15期
(A) 配当等収益	24,515,480円	26,960,302円
受取配当金	24,518,287	26,963,662
受取利息	146	211
支払利息	△ 2,953	△ 3,571
(B) 有価証券売買損益	132,464,725	△ 41,797,574
売買益	151,248,444	4,065,177
売買損	△ 18,783,719	△ 45,862,751
(C) 信託報酬等	△ 2,775,797	△ 3,076,078
(D) 当期損益金(A+B+C)	154,204,408	△ 17,913,350
(E) 前期繰越損益金	△ 94,831,715	25,398,626
(F) 追加信託差損益金	18,384,496	22,479,243
(配当等相当額)	( 146,094,128)	( 172,345,970)
(売買損益相当額)	(△ 127,709,632)	(△ 149,866,727)
(G) 合計(D+E+F)	77,757,189	29,964,519
(H) 収益分配金	△ 28,528,736	△ 20,761,917
次期繰越損益金(G+H)	49,228,453	9,202,602
追加信託差損益金	18,384,496	22,479,243
(配当等相当額)	( 146,094,128)	( 172,345,970)
(売買損益相当額)	(△ 127,709,632)	(△ 149,866,727)
分配準備積立金	161,581,733	136,177,436
繰越損益金	△ 130,737,776	△ 149,454,077

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は33ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第14期	第15期
(a) 経費控除後の配当等収益	24,081,688円	23,884,003円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	146,094,128	172,345,970
(d) 分配準備積立金	166,028,781	133,055,350
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	336,204,597	329,285,323
(f) 分配金	28,528,736	20,761,917
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	307,675,861	308,523,406
(h) 受益権総口数	950,957,873口	943,723,513口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金	第14期	第15期
	300円	220円
(単 価)	(10,518円)	(10,098円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

## 米ドル・コース

## 最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
6期末(2015年3月2日)	12,369	500	2.5	15,685	2.9	0.1	97.9	13,931
7期末(2015年5月28日)	12,651	500	6.3	16,326	4.1	0.1	97.8	13,134
8期末(2015年8月28日)	10,730	0	△ 15.2	14,972	△ 8.3	0.1	94.5	10,530
9期末(2015年11月30日)	10,978	350	5.6	15,961	6.6	0.1	97.9	9,830
10期末(2016年2月29日)	8,907	0	△ 18.9	13,762	△ 13.8	0.1	96.0	7,484
11期末(2016年5月30日)	9,496	0	6.6	14,451	5.0	—	97.8	7,338
12期末(2016年8月29日)	9,142	0	△ 3.7	13,735	△ 5.0	0.1	93.8	6,396
13期末(2016年11月28日)	10,669	300	20.0	15,446	12.5	0.0	97.4	6,526
14期末(2017年2月28日)	11,205	400	8.8	16,584	7.4	0.0	98.4	6,453
15期末(2017年5月29日)	10,935	350	0.7	16,724	0.8	0.0	97.8	5,874

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数(円換算)は、S & P 500種株価指数(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

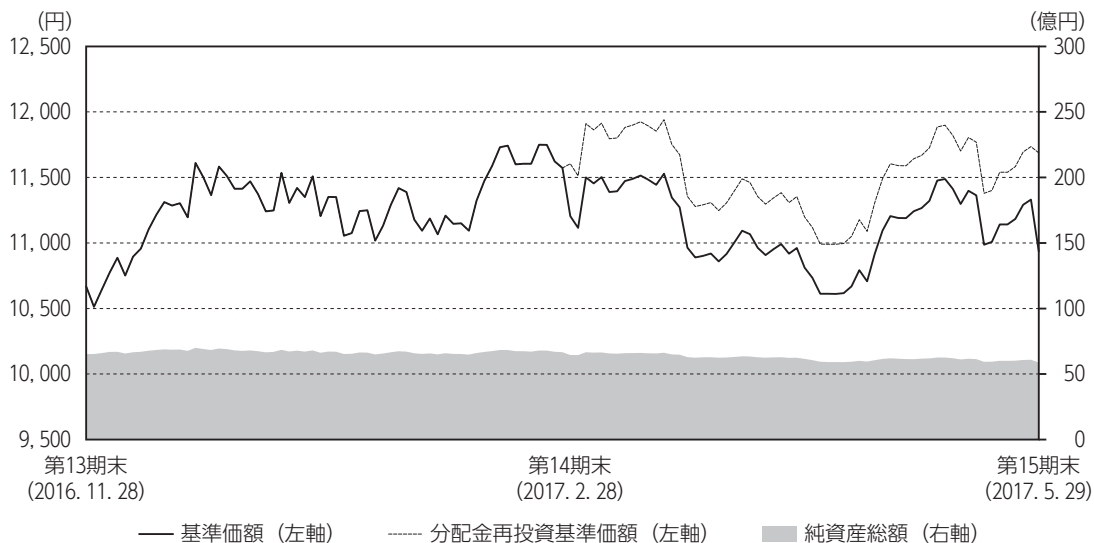
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第14期首：10,669円

第15期末：10,935円（既払分配金750円）

騰落率：9.5%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

米ドルが対円で下落したことがマイナス要因となりましたが、米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 米ドル・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第14期	(期首) 2016年11月28日	10,669	—	15,446	—	0.0	97.4
	11月末	10,644	△ 0.2	15,410	△ 0.2	0.0	98.0
	12月末	11,241	5.4	16,291	5.5	—	98.6
	2017年1月末	11,179	4.8	16,140	4.5	0.0	98.5
	(期末) 2017年2月28日	11,605	8.8	16,584	7.4	0.0	98.4
第15期	(期首) 2017年2月28日	11,205	—	16,584	—	0.0	98.4
	3月末	11,093	△ 1.0	16,518	△ 0.4	—	99.1
	4月末	11,191	△ 0.1	16,529	△ 0.3	0.1	98.7
	(期末) 2017年5月29日	11,285	0.7	16,724	0.8	0.0	97.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2016. 11. 29 ~ 2017. 5. 29)

### ■米国株式市況

米国株式市況は、ISM（全米供給管理協会）指数などの経済統計がおおむね良好であったことや、トランプ氏の経済政策への期待などを受けて、上昇して始まりました。2017年に入ると、入国規制に関する大統領令による混乱や、シリアや朝鮮半島情勢などの地政学リスクの高まりなどを受けて調整する局面も見られましたが、良好な企業決算の発表やフランス大統領選挙の結果を受けた欧州の政治リスクの後退などが支援材料となり、上昇基調で第15期末を迎えました。

### ■為替相場

米ドルの対円為替相場は下落しました。米ドルは、米国の大統領選挙においてトランプ氏が勝利すると、同氏の経済政策への期待感などから市場のリスク選好度が強まったことや米国の利上げ観測の高まりなどを受けて、上昇して始まりました。2017年1月以降は、米国の長期金利上昇が一服したことやトランプ政権の経済政策に対する不透明感、シリアや北朝鮮情勢など地政学リスクに対する警戒感などを受け、下落しました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

今後も、「ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）」（以下「US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）」といいます。）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。セクター別では、本源的価値と比較して割安な銘柄が多く見られる金融、一般消費財・サービス、資本財・サービス、情報技術などに投資妙味があると考えています。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

(2016. 11. 29 ~ 2017. 5. 29)

### ■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融、一般消費財・サービス、情報技術を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET、WELLS FARGO、CHARTER COMMUNICATIONSなどを高位で組み入れました。

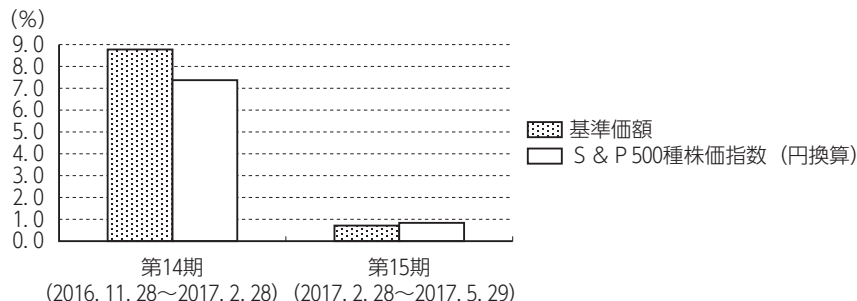
### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第14期は400円、第15期は350円といたしました。  
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第14期	第15期
	2016年11月29日 ～2017年2月28日	2017年3月1日 ～2017年5月29日
当期分配金（税込み）（円）	400	350
対基準価額比率（％）	3.45	3.10
当期の収益（円）	40	26
当期の収益以外（円）	359	323
翌期繰越分配対象額（円）	1,816	1,493

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第14期	第15期
(a) 経費控除後の配当等収益	40.72円	26.73円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	568.29	608.07
(d) 分配準備積立金	1,607.68	1,208.62
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	2,216.70	1,843.44
(f) 分配金	400.00	350.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	1,816.70	1,493.44

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。





## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追及していきます。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第14期～第15期 (2016. 11. 29～2017. 5. 29)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	68円	0.606%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,207円です。
(投 信 会 社)	(24)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(42)	(0.377)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	68	0.610	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2016年11月29日から2017年5月29日まで)

決算期	第14期～第15期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	1,285.924	175,307	9,550.823	1,380,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2016年11月29日から2017年5月29日まで)

第14期～第15期				第15期			
買付		平均単価		売付		平均単価	
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS (ケイマン諸島)	980.71	130,000	132	US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS (ケイマン諸島)	9,550.823	1,380,000	144

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間(第14期～第15期)中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年11月29日から2017年5月29日まで)

決算期	第14期～第15期						
	買付額等A		うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等C		うち利害関係人との取引状況D
百万円	%	百万円			%		
公社債	110,363	24,540	22.2	—	—	—	—
コール・ローン	3,953,187	—	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間(第14期～第15期)中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第15期末		
	□数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS	38,945.832	5,747,392	97.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第13期末	第 15 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	9,976	9,976	10,009

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年 5月29日現在

項 目	第 15 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	5,747,392	94.4
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	10,009	0.2
コール・ローン等、その他	331,972	5.4
投資信託財産総額	6,089,374	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年 2月28日)、(2017年 5月29日)現在

項 目	第14期末	第15期末
<b>(A) 資産</b>	<b>6,709,213,584円</b>	<b>6,109,374,854円</b>
コール・ローン等	347,965,520	311,972,662
投資信託受益証券 (評価額)	6,351,237,103	5,747,392,229
ダイワ・マネーストック・マザーファンド (評価額)	10,010,961	10,009,963
未収入金	—	40,000,000
<b>(B) 負債</b>	<b>255,712,176</b>	<b>234,620,223</b>
未払金	—	20,000,000
未払収益分配金	230,372,334	188,030,052
未払解約金	4,654,832	7,618,374
未払信託報酬	20,548,065	18,710,033
その他未払費用	136,945	261,764
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>6,453,501,408</b>	<b>5,874,754,631</b>
元本	5,759,308,355	5,372,287,201
次期繰越損益金	694,193,053	502,467,430
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>5,759,308,355口</b>	<b>5,372,287,201口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	11,205円	10,935円

\*第13期末における元本額は6,117,517,168円、当作成期間 (第14期~第15期) 中における追加設定元本額は497,381,093円、同解約元本額は1,242,611,060円です。

\*第15期末の計算口数当りの純資産額は10,935円です。

■損益の状況

第14期 自2016年11月29日 至2017年 2月28日  
第15期 自2017年 3月 1日 至2017年 5月29日

項 目	第14期	第15期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>24,374,926円</b>	<b>20,693,415円</b>
受取配当金	24,388,638	20,706,912
受取利息	516	542
支払利息	△ 14,228	△ 14,039
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>524,611,100</b>	<b>40,881,478</b>
売買益	561,703,291	52,282,354
売買損	△ 37,092,191	△ 11,400,876
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 20,685,010</b>	<b>△ 18,835,482</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>528,301,016</b>	<b>42,739,411</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>132,124,802</b>	<b>388,376,861</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>264,139,569</b>	<b>259,387,210</b>
(配当等相当額)	( 327,297,863)	( 326,676,985)
(売買損益相当額)	(△ 63,158,294)	(△ 67,289,775)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>924,565,387</b>	<b>690,497,482</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 230,372,334</b>	<b>△ 188,030,052</b>
次期繰越損益金 (G + H)	694,193,053	502,467,430
追加信託差損益金	264,139,569	259,387,210
(配当等相当額)	( 327,297,863)	( 326,676,985)
(売買損益相当額)	(△ 63,158,294)	(△ 67,289,775)
分配準備積立金	718,997,280	475,642,100
繰越損益金	△ 288,943,796	△ 232,561,880

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第14期	第15期
(a) 経費控除後の配当等収益	23,455,065円	14,363,168円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	327,297,863	326,676,985
(d) 分配準備積立金	925,914,549	649,308,984
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,276,667,477	990,349,137
(f) 分配金	230,372,334	188,030,052
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,046,295,143	802,319,085
(h) 受益権総口数	5,759,308,355口	5,372,287,201口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金	第14期	第15期
	400円	350円
(単 価)	(11, 205円)	(10, 935円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

## 通貨セレクト・コース

## 最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
6期末(2015年3月2日)	10,635	350	△ 7.9	12,785	1.5	0.1	97.0	5,178
7期末(2015年5月28日)	10,628	300	2.8	12,900	0.9	0.2	96.9	4,808
8期末(2015年8月28日)	8,178	180	△ 21.4	12,075	△ 6.4	0.2	95.2	3,482
9期末(2015年11月30日)	8,456	180	5.6	12,698	5.2	0.2	95.3	3,277
10期末(2016年2月29日)	6,469	150	△ 21.7	11,835	△ 6.8	0.3	98.4	2,393
11期末(2016年5月30日)	6,991	110	9.8	12,752	7.8	—	97.5	2,467
12期末(2016年8月29日)	6,931	120	0.9	13,177	3.3	0.0	93.9	2,154
13期末(2016年11月28日)	7,657	130	12.4	13,446	2.0	0.0	93.0	1,970
14期末(2017年2月28日)	8,677	160	15.4	14,396	7.1	0.0	94.7	2,042
15期末(2017年5月29日)	8,763	130	2.5	14,676	1.9	0.0	95.0	1,784

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数(米ドルベース)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

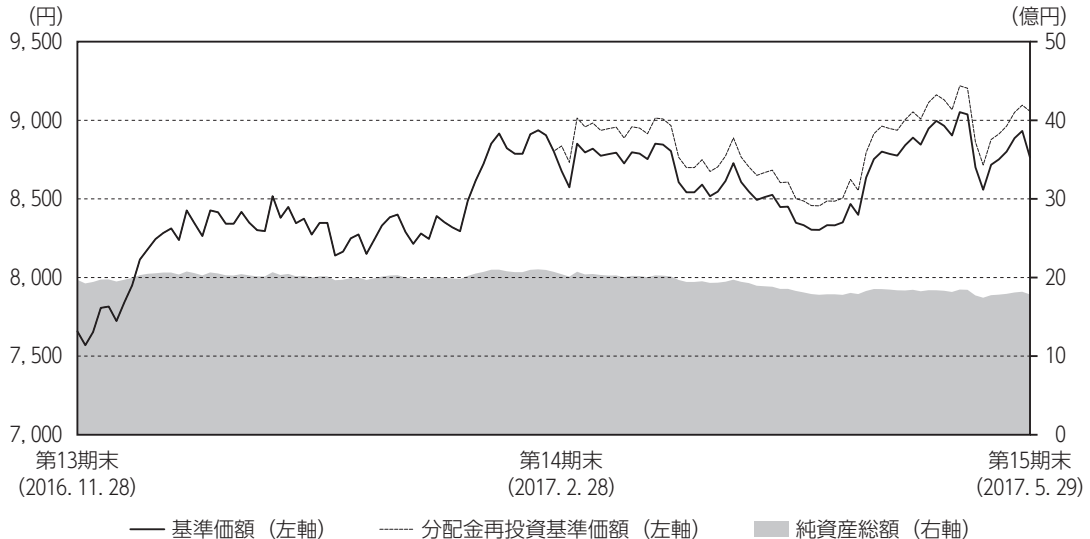
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第14期首：7,657円

第15期末：8,763円（既払分配金290円）

騰落率：18.3%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことや、選定通貨（※）が対円でおおむね上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。当作成期間においては、ブラジル・リアル、インドネシア・ルピア、インド・ルピー、コロンビア・ペソ、メキシコ・ペソ、トルコ・リラ、ロシア・ルーブル、南アフリカ・ランド、中国元を選定通貨に組み入れました。

## 通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイⅡ- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第14期	(期首) 2016年11月28日	7,657	—	13,446	—	0.0	93.0
	11月末	7,653	△ 0.1	13,394	△ 0.4	0.0	98.2
	12月末	8,301	8.4	13,665	1.6	—	98.9
	2017年1月末	8,289	8.3	13,857	3.1	0.0	98.6
	(期末) 2017年2月28日	8,837	15.4	14,396	7.1	0.0	94.7
第15期	(期首) 2017年2月28日	8,677	—	14,396	—	0.0	94.7
	3月末	8,727	0.6	14,386	△ 0.1	—	98.5
	4月末	8,786	1.3	14,512	0.8	0.0	98.4
	(期末) 2017年5月29日	8,893	2.5	14,676	1.9	0.0	95.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。



## 投資環境について

(2016. 11. 29 ~ 2017. 5. 29)

### ■米国株式市況

米国株式市況は、ISM（全米供給管理協会）指数などの経済統計がおおむね良好であったことや、トランプ氏の経済政策への期待などを受けて、上昇して始まりました。2017年に入ると、入国規制に関する大統領令による混乱や、シリアや朝鮮半島情勢などの地政学リスクの高まりなどを受けて調整する局面も見られましたが、良好な企業決算の発表やフランス大統領選挙の結果を受けた欧州の政治リスクの後退などが支援材料となり、上昇基調で第15期末を迎えました。

### ■為替相場

選定通貨は対円でおおむね上昇しました。第14期首から2016年12月末にかけては、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利し、同氏の経済政策への期待感から市場のリスク選好度が強まったことで、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。2017年1月以降は、米国のトランプ大統領の政策動向や欧州政治イベント、各国個別の材料に左右されつつ、選定通貨はまちまちな動きとなりました。特にブラジル・レアルやトルコ・リラは、政治的不透明感が高まったことから、対円で軟調な推移となりました。

当作成期間における選定通貨の動き（組入期間）は、ブラジル・レアル、インドネシア・ルピア、インド・ルピー、コロンビア・ペソ、メキシコ・ペソ、ロシア・ルーブル、南アフリカ・ランドは対円で上昇しました。一方で、中国元、トルコ・リラは対円で下落しました。

### ■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に、米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。米国では、2016年12月および2017年3月にそれぞれ利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを0.25~0.50%から0.75~1.00%に引き上げました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

今後も、「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）」（以下「US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）」といいます。）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

## ■US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。セクター別では、本源的価値と比較して割安な銘柄が多く見られる金融、一般消費財・サービス、資本財・サービス、情報技術などに投資妙味があると考えています。

原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行ないます。

大和証券投資信託委託株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行ないます。

## ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

(2016. 11. 29 ~ 2017. 5. 29)

### ■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融、一般消費財・サービス、情報技術を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET、WELLS FARGO、CHARTER COMMUNICATIONSなどを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行ないました。

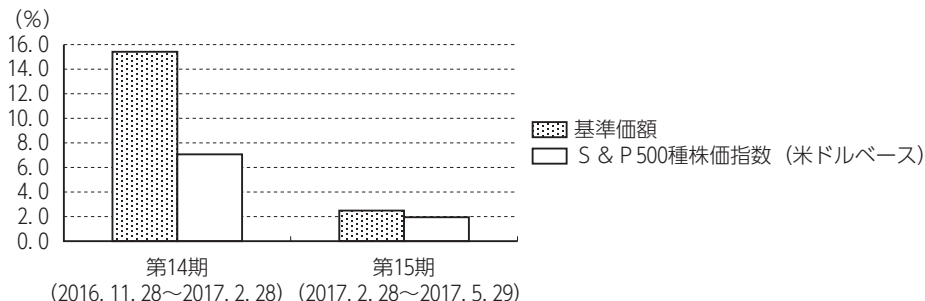
### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第14期は160円、第15期は130円といたしました。  
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第14期		第15期	
	2016年11月29日 ～2017年2月28日		2017年3月1日 ～2017年5月29日	
当期分配金（税込み）	(円)	160	130	
対基準価額比率	(%)	1.81	1.46	
当期の収益	(円)	160	130	
当期の収益以外	(円)	—	—	
翌期繰越分配対象額	(円)	2,021	2,056	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第14期	第15期
(a) 経費控除後の配当等収益	175.26円	165.61円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	124.72	139.64
(d) 分配準備積立金	1,881.09	1,881.46
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,181.08	2,186.72
(f) 分配金	160.00	130.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,021.08	2,056.72

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追及していきます。

原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行いません。

大和証券投資信託委託株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行いません。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第14期～第15期 (2016. 11. 29～2017. 5. 29)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	52円	0.605%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,514円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.377)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	52	0.609	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2016年11月29日から2017年5月29日まで)

決算期	第14期～第15期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 2,384.732	千円 195,670	千口 6,990.753	千円 597,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2016年11月29日から2017年5月29日まで)

第14期				第15期			
銘柄	買付		平均単価	銘柄	売付		平均単価
	□数	金額			□数	金額	
US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS (ケイマン諸島)	千口 1,463.851	千円 115,000	円 78	US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS (ケイマン諸島)	千口 6,990.753	千円 597,000	円 85

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間(第14期～第15期)中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間(第14期～第15期)中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年11月29日から2017年5月29日まで)

区分	第14期			第15期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 110,363	百万円 24,540	% 22.2	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	3,953,187	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

\*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第15期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS	千口 19,443.071	千円 1,695,085	% 95.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

## (2) 親投資信託残高

種 類	第13期末	第 15 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	2,001	2,001	2,008

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2017年5月29日現在

項 目	第 15 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,695,085	93.3
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	2,008	0.1
コール・ローン等、その他	119,865	6.6
投資信託財産総額	1,816,959	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年2月28日)、(2017年5月29日)現在

項 目	第14期末	第15期末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,101,395,148円</b>	<b>1,821,959,840円</b>
コール・ローン等	135,257,589	114,865,642
投資信託受益証券 (評価額)	1,934,128,992	1,695,085,831
ダイワ・マネーストック・マザーファンド (評価額)	2,008,568	2,008,368
未収入金	29,999,999	9,999,999
<b>(B) 負債</b>	<b>58,906,021</b>	<b>37,222,432</b>
未払金	15,000,000	5,000,000
未払収益分配金	37,661,794	26,475,923
未払解約金	—	893
未払信託報酬	6,202,921	5,666,533
その他未払費用	41,306	79,083
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>2,042,489,127</b>	<b>1,784,737,408</b>
元本	2,353,862,187	2,036,609,523
次期繰越損益金	△ 311,373,060	△ 251,872,115
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>2,353,862,187口</b>	<b>2,036,609,523口</b>
1万円当り基準価額 (C/D)	8,677円	8,763円

\* 第13期末における元本額は2,573,681,999円、当作成期間 (第14期~第15期) 中における追加設定元本額は31,417,046円、同解約元本額は568,489,522円です。

\* 第15期末の計算口数当りの純資産額は8,763円です。

\* 第15期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は251,872,115円です。

## ■損益の状況

第14期 自2016年11月29日 至2017年2月28日  
第15期 自2017年3月1日 至2017年5月29日

項 目	第14期	第15期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>42,183,173円</b>	<b>38,105,913円</b>
受取配当金	42,187,281	38,110,575
受取利息	112	290
支払利息	△ 4,220	△ 4,952
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>241,577,482</b>	<b>11,570,555</b>
売買益	252,767,035	17,012,447
売買損	△ 11,189,553	△ 5,441,892
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 6,244,227</b>	<b>△ 5,704,594</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>277,516,428</b>	<b>43,971,874</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 556,203,289</b>	<b>△ 271,561,660</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>4,975,595</b>	<b>2,193,594</b>
(配当等相当額)	( 29,358,677)	( 28,439,995)
(売買損益相当額)	(△ 24,383,082)	(△ 26,246,401)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 273,711,266</b>	<b>△ 225,396,192</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 37,661,794</b>	<b>△ 26,475,923</b>
次期繰越損益金 (G + H)	△ 311,373,060	△ 251,872,115
追加信託差損益金	4,975,595	2,193,594
(配当等相当額)	( 29,358,677)	( 28,439,995)
(売買損益相当額)	(△ 24,383,082)	(△ 26,246,401)
分配準備積立金	446,376,834	390,434,826
繰越損益金	△ 762,725,489	△ 644,500,535

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第14期	第15期
(a) 経費控除後の配当等収益	41,254,375円	33,729,626円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	29,358,677	28,439,995
(d) 分配準備積立金	442,784,253	383,181,123
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	513,397,305	445,350,744
(f) 分配金	37,661,794	26,475,923
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	475,735,511	418,874,821
(h) 受益権総口数	2,353,862,187口	2,036,609,523口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金	第14期	第15期
	160円	130円
(単 価)	(8,677円)	(8,763円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。



**ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン**  
**日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／**  
**米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス**

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－予想分配金提示型）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2017年5月29日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

**貸借対照表**  
2016年5月31日

<b>資産</b>		
投資資産、公正価値（取得原価 \$102,681,967）	\$	108,314,718
現金		587
為替先渡契約による評価益		41,729
未収：		
売却済みの投資証券		795,219
配当		179,410
前払受託会社報酬		9,135
<b>資産合計</b>		109,340,798
<b>負債</b>		
為替先渡契約による評価損		833,178
未払：		
購入済みの投資		1,728,637
償還済み受益証券		144,268
専門家報酬		53,050
投資運用会社報酬		52,707
会計および管理会社報酬		26,148
保管会社報酬		16,700
名義書換代理会社報酬		4,358
為替運用会社報酬		3,330
為替仲介会社報酬		1,669
その他負債		990
<b>負債合計</b>		2,865,035
<b>純資産</b>	<b>\$</b>	<b>106,475,763</b>
<b>純資産</b>		
豪ドル・クラス	\$	4,111,681
ブラジル・レアル・クラス		6,755,612
通貨セレクト・クラス		21,918,573
日本円・クラス		8,287,059
米ドル・クラス		65,402,838
	<b>\$</b>	<b>106,475,763</b>

<b>発行済み受益証券</b>		
豪ドル・クラス		5,178,941
ブラジル・リアル・クラス		10,834,591
通貨セレクト・クラス		34,572,724
日本円・クラス		8,758,710
米ドル・クラス		61,554,510

<b>受益証券1口当り純資産</b>		
豪ドル・クラス	\$	0.794
ブラジル・リアル・クラス	\$	0.624
通貨セレクト・クラス	\$	0.634
日本円・クラス	\$	0.946
米ドル・クラス	\$	1.063

### 損益計算書

2016年5月31日に終了した年度

<b>投資収益</b>		
配当収益 (源泉税 \$794,032控除後)	\$	2,137,802
投資収益合計		<u>2,137,802</u>
<b>費用</b>		
投資運用会社報酬		739,031
会計および管理会社報酬		54,257
専門家報酬		53,049
為替運用会社報酬		46,514
保管会社報酬		27,945
受託会社報酬		13,068
名義書換代理会社報酬		10,891
為替仲介会社報酬		4,734
登録料		1,409
その他費用		3,391
費用合計		<u>954,289</u>
投資純利益		<u>1,183,513</u>
<b>実現利益 (損失) および評価益 (損) :</b>		
<b>実現利益 (損失) :</b>		
証券投資		(2,605,497)
外国為替取引および外国為替先渡契約		(3,388,536)
純実現損失		<u>(5,994,033)</u>
<b>評価益 (損) の純変動 :</b>		
証券投資		(17,460,551)
外国為替換算および外国為替先渡契約		989,527
評価損の純変動		<u>(16,471,024)</u>
純実現・純評価損		<u>(22,465,057)</u>
運用による純資産の純減	\$	<u>(21,281,544)</u>

(米ドル建て)

投資明細表  
2016年5月31日

株数	証券の明細	純資産に 占める割合	公正価値
	<b>普通株 (94.8%)</b>		
	英国 (5.4%)		
	保険 (5.4%)		
52,500	Aon PLC	\$	5,736,675
	英国合計 (取得原価 \$4,630,469)		5,736,675
	米国 (89.4%)		
	自動車 (5.7%)		
194,900	General Motors Co.		6,096,472
	銀行 (18.2%)		
33,300	Goldman Sachs Group, Inc.		5,310,684
100,100	JPMorgan Chase & Co.		6,533,527
148,000	Wells Fargo & Co.		7,506,560
			19,350,771
	<b>総合金融サービス (5.7%)</b>		
16,600	BlackRock, Inc. Class A		6,039,910
	<b>ヘルスケア製品 (3.8%)</b>		
93,500	Baxter International, Inc.		4,035,460
	保険 (6.9%)		
127,100	American International Group, Inc.		7,356,548
	<b>インターネット (4.2%)</b>		
6,150	Alphabet, Inc. Class C		4,524,678
	<b>建設機械・鉱山機械 (5.0%)</b>		
74,000	Caterpillar, Inc.		5,365,740
	総合機械 (6.4%)		
59,800	Cummins, Inc.		6,845,306
	メディア (9.8%)		
24,699	Charter Communications, Inc. Class A		5,407,599
123,900	Tribune Media Co. Class A		4,986,975
			10,394,574
	<b>医薬品 (3.6%)</b>		
56,500	Quintiles Transnational Holdings, Inc.		3,835,785
	<b>不動産 (3.4%)</b>		
120,200	CBRE Group, Inc. Class A		3,587,970
	<b>小売 (7.1%)</b>		
69,100	CarMax, Inc.		3,707,906
62,700	Tiffany & Co.		3,884,892
			7,592,798
	<b>半導体 (3.5%)</b>		
152,000	Applied Materials, Inc.		3,711,840
	<b>ソフトウェア (6.1%)</b>		
122,500	Microsoft Corp.		6,492,500
	米国合計 (取得原価 \$90,703,807)		95,230,352
	普通株合計 (取得原価 \$95,334,276)		100,967,027

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド –イーグルアイII– 予想分配金提示型

元本

	短期投資 (6.9%)							
	ノルウェー (6.9%)							
	定期預金 (6.9%)							
\$ 7,347,691	DnB NOR Bank ASA							\$ 7,347,691
	0.15% due 06/01/16							7,347,691
	ノルウェー合計 (取得原価 \$7,347,691)							7,347,691
	短期投資合計 (取得原価 \$7,347,691)							7,347,691
	投資総額 (取得原価 \$102,681,967)				101.7%			\$ 108,314,718
	現金および他の資産を超過する負債				(1.7)			(1,838,955)
	純資産				100.0%			\$ 106,475,763

投資明細表のすべての有価証券は運用会社の最良の判断に基づいて有価証券の所在地ではなく、リスクの所在国によって分類されています。

2016年5月31日現在のファンドレベルの為替先渡契約

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	純評価益 / (損)
J P Y	Citibank N. A.	16,000,001	2016年6月1日	U S D	145,924	\$ -	\$ (1,657)	\$ (1,657)

2016年5月31日現在の豪ドル・クラスの為替先渡契約

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	純評価益 / (損)
A U D	Citibank N. A.	5,632,732	2016年6月14日	U S D	4,150,408	\$ -	\$ (71,734)	\$ (71,734)

2016年5月31日現在のブラジル・リアル・クラスの為替先渡契約

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	純評価益 / (損)
B R L	Citibank N. A.	23,574,669	2016年6月14日	U S D	6,747,605	\$ -	\$ (227,718)	\$ (227,718)

2016年5月31日現在の通貨セレクト・クラスの為替先渡契約

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	純評価益 / (損)
B R L	Citibank N. A.	14,450,616	2016年6月14日	U S D	4,137,664	\$ -	\$ (141,160)	\$ (141,160)
C L P	Citibank N. A.	2,036,927,853	2016年6月14日	U S D	3,001,734	-	(50,125)	(50,125)
I D R	Citibank N. A.	45,916,558,019	2016年6月14日	U S D	3,440,687	-	(86,431)	(86,431)
I N R	Citibank N. A.	259,722,292	2016年6月14日	U S D	3,880,198	-	(28,781)	(28,781)
M X N	Citibank N. A.	52,639,658	2016年6月14日	U S D	2,912,885	-	(56,494)	(56,494)
T R Y	Citibank N. A.	13,946,990	2016年6月14日	U S D	4,668,246	41,729	-	41,729
						\$ 41,729	\$ (362,991)	\$ (321,262)

2016年5月31日現在の日本円・クラスの為替先渡契約

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	純評価益 / (損)
J P Y	Citibank N. A.	886,432,550	2016年6月14日	U S D	8,164,778	\$ -	\$ (169,078)	\$ (169,078)

通貨の略称

A U D	-	豪ドル
B R L	-	ブラジル・リアル
C L P	-	チリ・ペソ
I D R	-	インドネシア・ルピア
I N R	-	インド・ルピー
J P Y	-	日本円
M X N	-	メキシコ・ペソ
T R Y	-	トルコ・リラ
U S D	-	米ドル

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2016年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第15期の決算日（2017年5月29日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を60ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年11月29日から2017年5月29日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
645 国庫短期証券 2017/2/20	17,010,400		
657 国庫短期証券 2017/4/17	10,150,199		
652 国庫短期証券 2017/3/27	9,790,078		
642 国庫短期証券 2017/2/6	9,700,144		
659 国庫短期証券 2017/4/24	9,120,282		
651 国庫短期証券 2017/3/21	7,630,194		
644 国庫短期証券 2017/5/12	6,690,300		
638 国庫短期証券 2017/1/16	5,120,041		
660 国庫短期証券 2017/5/1	4,590,081		
648 国庫短期証券 2017/3/6	4,350,168		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2017年5月29日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（30,262,766千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2017年5月29日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちB B格 以下組 入率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 1,930,000	千円 1,930,069	%	%	%	%	%
			6.4	—	—	—	6.4

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータ入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2017年5月29日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	667 国庫短期証券	—	千円 200,000	千円 200,003	2017/06/05	
	650 国庫短期証券	—	190,000	190,006	2017/06/12	
	669 国庫短期証券	—	1,540,000	1,540,058	2017/06/12	
合 計	銘 柄 数	3銘柄				
	金 額		1,930,000	1,930,069		

(注) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネースtock・マザーファンド 運用報告書 第7期 (決算日 2016年12月9日)

(計算期間 2015年12月10日～2016年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第7期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

## ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

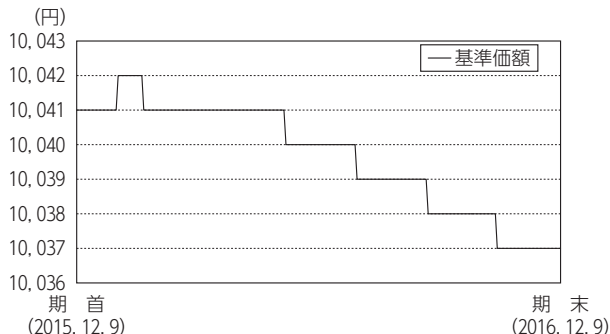
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
	円	%	
(期首) 2015年12月9日	10,041	—	51.6
12月末	10,041	0.0	51.7
2016年1月末	10,042	0.0	90.7
2月末	10,041	0.0	51.1
3月末	10,041	0.0	2.0
4月末	10,041	0.0	7.5
5月末	10,040	△ 0.0	0.1
6月末	10,040	△ 0.0	2.0
7月末	10,039	△ 0.0	19.3
8月末	10,038	△ 0.0	46.5
9月末	10,038	△ 0.0	26.0
10月末	10,037	△ 0.0	3.4
11月末	10,037	△ 0.0	26.6
(期末) 2016年12月9日	10,037	△ 0.0	29.1

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

- ◆基準価額等の推移について
  - 【基準価額・騰落率】  
期首：10,041円 期末：10,037円 騰落率：△0.0%
  - 【基準価額の主な変動要因】  
低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。
- ◆投資環境について
  - 国内短期金融市況  
期首より、日銀は量的・質的金融緩和を継続し、2016年1月にはマイナス金利付き量的・質的金融緩和の導入を、9月には長短金利操作付き量的・質的金融緩和の導入を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利は低下しました。
- ◆前期における「今後の運用方針」
 

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。
- ◆ポートフォリオについて  
流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。
- ◆ベンチマークとの差異について  
当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。  
 (注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

## ダイワ・マネースtock・マザーファンド

### ■売買および取引の状況

#### 公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

		買付額	売付額
国	国内	千円	千円
		国債証券	215,986,756

(注1) 金額は受渡し代金(経過利分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄

#### 公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

当		期	
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
591 国庫短期証券 2016/5/30	18,690,605	575 国庫短期証券 2016/6/10	1,500,603
601 国庫短期証券 2016/7/19	18,510,383	342 2年国債 0.1% 2016/7/15	720,475
613 国庫短期証券 2016/9/12	18,220,258	100 5年国債 0.3% 2016/9/20	601,368
611 国庫短期証券 2016/9/5	15,210,394		
596 国庫短期証券 2016/6/20	11,560,241		
588 国庫短期証券 2016/5/16	9,500,428		
609 国庫短期証券 2016/8/22	8,580,187		
629 国庫短期証券 2016/11/28	8,570,294		
610 国庫短期証券 2016/8/29	7,920,152		
619 国庫短期証券 2016/10/11	7,720,160		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■組入資産明細表

#### (1)国内(邦貨建)公社債(種類別)

作成期	当			期			末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちB格以下組入比率	残存期間別組入比率				
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満	%	%
国債証券	12,370,000	12,370,239	29.1	—	—	—	—	—	29.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

#### (2)国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

		当		期		末	
区分	銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日		
		%	千円	千円			
国債証券	632 国庫短期証券	—	7,380,000	7,380,059	2016/12/12		
	634 国庫短期証券	—	2,070,000	2,070,043	2016/12/19		
	635 国庫短期証券	—	2,920,000	2,920,135	2016/12/26		
合計	銘柄数	3銘柄					
	金額		12,370,000	12,370,239			

(注) 単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2016年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	12,370,239	27.2
コール・ローン等、その他	33,049,576	72.8
投資信託財産総額	45,419,816	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。



■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月9日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>45,419,816,005円</b>
コール・ローン等	33,049,294,532
公社債（評価額）	12,370,239,552
その他未収収益	281,921
<b>(B) 負債</b>	<b>2,970,027,930</b>
未払金	1,470,027,930
未払解約金	1,500,000,000
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>42,449,788,075</b>
元本	42,294,564,193
次期繰越損益金	155,223,882
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>42,294,564,193口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	<b>10,037円</b>

\*期首における元本額は62,535,131,959円、当期中における追加設定元本額は110,785,944,225円、同解約元本額は131,026,511,991円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド（為替ヘッジあり）3,021,993円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド（為替ヘッジなし）1,018,149円、ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド-ロボテック-49,795,838円、新興国ソブリン・豪ドルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ファンド（為替ヘッジあり/毎月決算型）999円、アジア高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり/毎月決算型）999円、U.S短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり/毎月決算型）3,988,832円、U.S短期高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり/年1回決算型）4,984円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド-ロボテック-（為替ヘッジあり）39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型）-ロボテック（年1回）-（為替ヘッジあり）3,985円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス13,026,074,887円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス7,057,921,466円、ダイワ上場投信-TOPIXレバレッジ（2倍）指数1,434,536,786円、ダイワ上場投信-TOPIXダブルインバース（-2倍）指数757,087,194円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス11,055,796,865円、ダイワ上場投信-TOPIXインバース（-1倍）指数2,230,635,146円、ダイワ上場投信-JPX日経400レバレッジ・インデックス901,494,652円、ダイワ上場投信-JPX日経400インバース・インデックス4,402,808,262円、ダイワ上場投信-JPX日経400ダブルインバース・インデックス313,802,045円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2016-10 997円、ダイワ・プルベア・セレクト マネー・ポートフォリオ185,052,355円、ダイワ・プルベア・セレクト ドル高円安ポートフォリオ160,376,323円、ダイワ・プルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ76,963,963円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネー・ポートフォリオ-SLトレード-48,811,188円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の福音（つちおと）-11,000,000円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ395,846,364円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ91,481,943円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース（毎月分配型）12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース（毎月分配型）4,981,569円、ダイワU.S短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり/年1回決算型）199,295円、ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）997円、ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）997円、ダイワ新グロー

バル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）997円、ダイワ/ミレニアセット 亜細亜株式ファンド9,958,176円、＜奇数月定額払出型＞ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、＜奇数月定額払出型＞ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）ブラジル・リアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）通貨セレクト・コース3,685,259円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型）-ロボテック（年1回）-100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし（毎月分配型）99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース（毎月分配型）99,771円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジあり）2,088,438円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジなし）1,012,911円、ダイワ/ミレニアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）-ジャパン・トリプルリターンズ-日本円・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）-ジャパン・トリプルリターンズ-豪ドル・コース（毎月分配型）99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）-ジャパン・トリプルリターンズ-ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）-ジャパン・トリプルリターンズ-米ドル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）-ジャパン・トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイII-予想配分金提示型 日本円・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイII-予想配分金提示型 豪ドル・コース499,994円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイII-予想配分金提示型 ブラジル・リアル・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイII-予想配分金提示型 米ドル・コース9,976,045円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイII-予想配分金提示型 通貨セレクト・コース2,001,563円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は10,037円です。

■損益の状況

当期 自2015年12月10日 至2016年12月9日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 16,210,382円</b>
受取利息	△ 3,627,074
その他収益金	281,921
支払利息	△ 12,865,229
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 1,217,528</b>
売買益	236,035
売買損	△ 1,453,563
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 176,405</b>
<b>(D) 当期損益金（A+B+C）</b>	<b>△ 17,604,315</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>256,659,974</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 525,706,324</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>441,874,547</b>
<b>(H) 合計（D+E+F+G）</b>	<b>155,223,882</b>
次期繰越損益金（H）	155,223,882

（注1） 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2） 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。